



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月29日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9265 URL <https://www.yhchd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員 社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 吉田 弘幸 (TEL) 092-402-2922
 四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日~2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	45,373	8.7	830	△7.3	871	△7.0	442	—
2023年5月期第3四半期	41,725	2.7	895	5.0	936	3.2	1	△99.8

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 607百万円(—%) 2023年5月期第3四半期 △80百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	173.23	—
2023年5月期第3四半期	0.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	25,633	8,409	32.8
2023年5月期	24,568	7,924	32.2

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 8,395百万円 2023年5月期 7,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	48.00	48.00
2024年5月期	—	0.00	—		
2024年5月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,764	7.9	883	△23.6	935	△22.5	331	51.5	130.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年5月期3Q	2,553,000株	2023年5月期	2,553,000株
2024年5月期3Q	114株	2023年5月期	114株
2024年5月期3Q	2,552,886株	2023年5月期3Q	2,552,886株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年6月1日～2024年2月29日）におけるわが国の状況は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行されたことにより、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向となっております。その一方で、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましては、3年におよぶコロナ禍において、医療提供体制維持のため医療機関に対する継続的な支援が行われてきた中、診療や検査の増加等もあり、医療機関の医業収益には改善の傾向が見受けられます。

一方、2024年度の診療報酬改定率が決定し、診療報酬本体部分はプラス0.88%、薬価・材料価格は合わせてマイナス1.0%となることが発表されました。今回の改定では、物価高騰・賃金上昇といった経済社会情勢を踏まえた医療・介護人材の確保や医療現場における業務効率化の必要性等が示されております。その他、医療DXの推進による医療情報の有効活用、イノベーション推進による医療機器等の開発力強化、安定的な生産供給体制構築を通じた安心・安全で質の高い医療提供体制の構築等が求められております。

このような状況の中、当社グループでは、営業活動にまだまだ一定の制約はあるものの、グループの事業会社8社が、各々の営業活動を行ってまいりました。中核事業である医療機器販売業においては、前年度末からの需要等の影響により検査用機器等の設備投資需要が前年同期よりも増加したこと、また、検査・手術件数の回復により診療材料等の医療機器消耗品の売上が回復・増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間における売上高は453億73百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は8億30百万円（前年同四半期比7.3%減）、経常利益は8億71百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。また、山下医科器械株式会社が保有する鳥栖TMSセンター敷地内に新たな物流センターを開設する予定であることから、当該敷地の現有建物等の残存簿価について減損損失による特別損失2億円を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億42百万円（前年同四半期は1百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、2023年12月19日付で、整形分野専門の医療機器卸売を事業内容とする株式会社鹿児島オルソ・メディカルの全株式を取得し、連結子会社としております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品やMRI・CT等の画像診断機器や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により63億84百万円（前年同四半期比18.5%増）となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により184億95百万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により106億91百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、透析関連機器や整形外科関連の売上により87億6百万円（前年同四半期比15.6%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、設備保守メンテナンスの売上により10億88百万円（前年同四半期比25.2%増）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は453億65百万円（前年同四半期比9.0%増）、セグメント利益は16億71百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額	前年同期比 (%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	5,389	13.0	6,384	13.2	994	18.5
一般消耗品分野	17,827	42.8	18,495	42.8	667	3.7
低侵襲治療分野	9,992	24.0	10,691	24.0	698	7.0
専門分野	7,533	18.1	8,706	17.7	1,172	15.6
情報・サービス分野	869	2.1	1,088	2.3	219	25.2
小計	41,613	100.0	45,365	100.0	3,752	9.0

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は2億9百万円（前年同四半期比1.0%減）、セグメント利益は2百万円（前年同四半期比79.7%減）となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は51百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比81.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は256億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億64百万円増加いたしました。流動資産は、主に受取手形、売掛金及び契約資産の増加により、前連結会計年度末に比べて7億72百万円増加し、202億88百万円となりました。固定資産は、のれん及び投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べて2億92百万円増加し、53億45百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、主に支払手形及び買掛金の増加により、前連結会計年度末に比べて5億79百万円増加し、172億24百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて4億85百万円増加し、84億9百万円となり、自己資本比率は32.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の連結業績予想につきましては、本日（2024年3月29日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,825	4,548
受取手形、売掛金及び契約資産	10,492	11,543
商品	2,891	3,021
その他	323	1,194
貸倒引当金	△15	△18
流動資産合計	19,516	20,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,646	3,498
減価償却累計額	△2,095	△2,182
建物及び構築物（純額）	1,551	1,315
土地	1,649	1,687
その他	817	782
減価償却累計額	△691	△661
その他（純額）	125	120
有形固定資産合計	3,326	3,123
無形固定資産		
のれん	56	303
その他	55	45
無形固定資産合計	111	348
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015	1,273
関係会社株式	22	17
破産更生債権等	612	557
その他	576	581
貸倒引当金	△612	△557
投資その他の資産合計	1,614	1,872
固定資産合計	5,052	5,345
資産合計	24,568	25,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,793	8,685
電子記録債務	6,686	6,962
未払法人税等	334	29
賞与引当金	693	211
短期借入金	-	30
その他	632	565
流動負債合計	16,139	16,484
固定負債		
退職給付に係る負債	234	240
その他	270	499
固定負債合計	504	739
負債合計	16,644	17,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	627	627
利益剰余金	6,306	6,625
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,427	7,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563	720
退職給付に係る調整累計額	△84	△72
その他の包括利益累計額合計	479	648
非支配株主持分	17	13
純資産合計	7,924	8,409
負債純資産合計	24,568	25,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
売上高	41,725	45,373
売上原価	36,017	39,281
売上総利益	5,708	6,092
販売費及び一般管理費	4,813	5,261
営業利益	895	830
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	9
仕入割引	10	11
受取手数料	20	19
その他	14	20
営業外収益合計	55	61
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	1	4
手形売却損	5	5
支払補償費	-	3
持分法による投資損失	3	4
その他	0	1
営業外費用合計	14	20
経常利益	936	871
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	54
条件付対価受入益	6	-
投資有価証券売却益	1	-
特別利益合計	8	54
特別損失		
固定資産売却損	-	4
減損損失	-	200
貸倒引当金繰入額	611	-
特別損失合計	611	204
税金等調整前四半期純利益	333	721
法人税、住民税及び事業税	176	185
法人税等調整額	159	96
法人税等合計	336	282
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3	438
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	442

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3	438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	156
退職給付に係る調整額	16	11
その他の包括利益合計	△77	168
四半期包括利益	△80	607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76	610
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	5,389	—	—	5,389	—	5,389
一般消耗品分野	17,827	—	—	17,827	—	17,827
低侵襲治療分野	9,992	—	—	9,992	—	9,992
専門分野	7,533	—	—	7,533	—	7,533
情報・サービス分野	869	—	—	869	—	869
その他	—	211	—	211	—	211
内部売上高	△137	—	—	△137	△11	△149
顧客との契約から生じる 収益	41,475	211	—	41,687	△11	41,675
その他の収益	—	—	50	50	—	50
外部顧客への売上高	41,464	211	50	41,725	—	41,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	0	—	11	△11	—
計	41,475	211	50	41,737	△11	41,725
セグメント利益	1,574	10	0	1,586	△690	895

(注)1. セグメント利益の調整額△690百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△680百万円、棚卸資産の調整額△0百万円、のれん償却額△10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2024年2月29日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	6,384	—	—	6,384	—	6,384
一般消耗品分野	18,495	—	—	18,495	—	18,495
低侵襲治療分野	10,691	—	—	10,691	—	10,691
専門分野	8,706	—	—	8,706	—	8,706
情報・サービス分野	1,088	—	—	1,088	—	1,088
その他	—	209	—	209	—	209
内部売上高	△252	—	—	△252	△0	△253
顧客との契約から生じる 収益	45,113	209	—	45,323	△0	45,322
その他の収益	—	—	51	51	—	51
外部顧客への売上高	45,112	209	51	45,373	—	45,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	45,113	209	51	45,374	△0	45,373
セグメント利益	1,671	2	1	1,674	△844	830

(注) 1. セグメント利益の調整額△844百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△825百万円、棚卸資産の調整額△0百万円、のれん償却額△18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売業」において、当社の連結子会社である山下医科器械株式会社が保有する鳥栖TMSセンター敷地内に新たな物流センターを開設する予定であることから、当該敷地の現有建物等の残存簿価について減損損失として特別損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては200百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。